

日本共産党港区議会議員

星野たかし区政報

発行

港区芝公園1-5-25

TEL(3578)2111

内線2945~6

FAX(3578)2947

日本共産党港区議員団

ご意見・ご
相談はお気
軽にどうぞ

TEL/FAX(星野自宅)

3449-1202

みなさんの地道な運動と党区議団の質問が実る

十月一日から介護保険料・利用料の負担軽減を実施

安心できる介護保険制度に向け、引き続き運動を

港区は十月から、区独自の介護保険料・利用料の軽減策を実施します。

党区議団は、代表質問など機会ある毎に減免制度実施を含めた介護保険問題を取り上げて来ました。

党区議団は第一回定例区議会に「減免条例」の提案を準備し、各会派に協力を要請。そのような中、二千年度予算特別委員会で全会派一致で「保険料・利用料の軽減実施」の要望書を原田区長に提出。区長は「十月実施に向け検討」を表明していたものです。

「減免は実施しない」と言い続けた区長の態度を変えさせたのは区民のみならず、今回の軽減策は対象者のみで、区の推計でも六百人程度にすぎません。予算規模も八百万円程度です。党区議団は引き続き、生活実態や介護実態に見合う軽

減策の実現にむけ、頑張り

の要件を満たしている方です。

預金額が三百万円以下、課税されていないこと。

今回の軽減策で対象になる方は、第一号保険者（六

世帯の収入額が生活保護基準額の概ね一・一五倍

介護保険料を滞納していない人。（保険料）

五才以上）の方で所得段階

一人世帯 約百十三万円

保険料は月額二千二百九十

が第二段階の人（世帯全員

二人世帯 約百七十万円

十円を軽減し千五百二十円

（仮称）赤坂六丁目特別養護老人ホーム建設が決まる

二〇〇三年四月にはオープン

赤坂児童館も設置される

氷川小学校跡に特別養護老人ホームと在宅サービスセンター、児童館を建設するための、契約が議会で提案され、全会一致で承認されました。

弱高齢者：三十人、痴呆性高齢者：十人、中・高生も利用できる児童館・学童クラブ施設、氷川武道場、氷川小記念コナーなどの複合施設となります。

契約が承認されたことで、二〇〇三年四月にはオープンの予定で工事が行われることとなります。

施設は特別養護老人ホーム：八十床、ショートステイ：二十床、高齢者在宅サービスセンター：四十人（虚

ます。

（利用料）

利用料は一ヶ月当たり一万五千円（第一段階の負担上限額）を超え、二万四千六百元（第二段階の負担上限額）以下の負担分について二分の一の助成（最高額四千八百円）となります。

これまでもおり二万四千六百元を越えた分は、全額高額介護サービス費として支給されます。

減免を受けるには申請が必要で、申請受付は一月中旬予定。

特に昨年四月から介護保険がはじまり保険料は取られるが、特養に入りたくてもはいれない、「契約違反」もあり、区民からも特養ホーム建設についての強い要望が寄せられています。

特養ホームの入所待機者は、八月三日現在五百七十二名にもなっています。党区議団は、学校跡地などを活用しての特別養護老人ホーム建設を要求しています。

なんでも相談

毎月10・25日。午後7時より志田町診療所にて。土曜日・日曜日・休日は翌日。事前にご連絡いただくと便利です。 連絡先...星野自宅 3449-1202 区議会控室 3578-2945

バス路線の復活、区民の足確保 にむけ庁内の検討委員会が発足

党区議団が代表質問など機会あることに取り上げてきた「バス路線復活にむけて」の第一歩となる庁内検討組織が発足しました。

三月の第一回定例区議会の代表質問で、「全庁的な調査チームをつくるよう」に質問しました。区長は「庁内に調査チームを作り、区民の公共施設等への交通手段、区民の交通利用者の実態を把握するよう取り組んで行く」と答弁していました。しかし、半年経っても調査チームが発足しない

ため、第二回定例区議会の代表質問でも取上げたことに対し、区長は「今月(九月)中に庁内検討会を発足させ、地域交通の実態の分析や地域交通のあり方について検討してまいります」と答弁したものです。

「港区の地域交通の検討会」は、「区内公共交通の利用実態、地域交通に対する区民のニーズ等を把握し、区民生活と密着した地域交通のあり方について、検討する。」ことを目的にするもので、街づくり推進部長を会長に庁内のすべての部から関係課長が会員になっています。

都バス路線の復活問題は、日々の通院や買い物、公共施設の利用などにとって緊急かつ切実な問題です。党区議団は、引き続きみなさんと運動を広げ、一日も早く、みなさんの外出の足、公共交通の実現できるようにがんばってまいります。また、第一回定例会に提

出された「気軽に利用できる区内循環バスの運行を求める請願書」(紹介議員・党区議団の七名の他に一名)が全会一致で採択されました。請願の趣旨は「区内の病院や区役所・支所などを循環するバスを運行してください。」というものです。党委員は「バス廃止後も多くの区民から、一日も早いバス路線復活を望む声が続き寄せられている。庁

内の検討組織もできるよい機会」と、採択を主張しました。

二〇〇二年度当初予算に対する 要望書を提

赤坂小学校(旧檜町小)の建て替えの際、党区議団は学校に図書室がないのはおかしいと指摘してきました。その後、図書室建設用地として平成元年と平成五年に隣地を買収しましたが、財政難を口実に放置された

十月二十九日、党港区議員団と党地区委員会は、区長に対し「二〇〇二年度当初予算に対する要望書」を提出しました。要望書は、「景気は悪化の一途をたどっている中、区民生活、中小企業の営業と生活はきわめて深刻」であり、「福祉の増進という地方自治体の本

旨にもとづく区政運営に徹し、「くらし、福祉、教育、中小企業施策にこそ力を入れる」よう要求。同時に「狂牛病対策」、都の介護保険利用料軽減を区の軽減策にも適用するよう要請することなど、緊急問題への要請も行いました。区長は、申し入れについて「十分検討させていただきます」と答えました。

「要請書」の提出にあたっては、くぼた光前都議会議員も同席しました。

赤坂小学校の 図書室建設はじまる

図書室のないただ一つの区立小学校・赤坂小学校に図書室が建設されることになりました。

赤坂小学校(旧檜町小)の建て替えの際、党区議団は学校に図書室がないのはおかしいと指摘してきました。

その後、図書室建設用地として平成元年と平成五年に隣地を買収しましたが、財政難を口実に放置された

年末特別枠融資を実施

長引く不況で大変な状況におかれています中小企業・商店を対象に、年末特別枠融資が実施されます。

党港区議員団は、中小企業や商店街、商店の深刻な実態を述べ、定例会のたび

に緊急特別枠融資の実施を要求してきました。今回の実施は、これらに応えたものであり、一年半ぶりの特別枠融資の実施となります。

「内容は次の通りです。」

融資枠限度額 五百万円以内

貸付期間 五年以内

借受人負担率 〇・三%

申込方法 予約制による受付

申込期間 十月二二日、十一月三十日

詳しくは議員団までお問い合わせください。